

平成23年

第3回防府市議会定例会

一般質問

6月15日（4人）

今津 誠一・安藤 二郎・大田 雄二郎・山田 耕治

6月16日（4人）

中林 堅造・高砂 朋子・河杉 憲二・山根 祐二

6月17日（4人）

山本 久江・田中 健次・重川 恭年・山下 和明

6月20日（3人）

土井 章・三原 昭治・松村 学

No.	1	今津 誠一	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. まちの景気浮揚策</p> <p>2. 雇用創出プラン</p> <p>3. 環境</p> <p>4. 山頭火ふるさと館建設計画</p>	<p>(1) まちの景気浮揚を喫緊の課題として、重点政策の一つに加え、具体的な景気浮揚策を講じて戴きたい。策を講じるに当たって、現在の不景気の原因をどのように考えているか、お示し戴きたい。</p> <p>(1) 雇用の創出は、地方の再生発展に欠くべからざるもので、極めて重要な政策といえる。いま、防府市には雇用創出プランはあるのか？ プランを作る場合、特に環境領域に注目し「環境」を切り口とした雇用創出プランを考えることを提案する。</p> <p>(1) エコシティ・エコタウン構想 環境都市の建設と同時に、地域振興、新産業の創出、企業誘致、起業等にも繋がる、これらの構想は、検討の価値が充分あるが、検討してはいかがか。</p> <p>(2) CO2〇〇トン削減計画 数値目標を掲げた削減計画をつくることを提案する。</p> <p>(3) JR 高架下の雑草対策 再三指摘しているにも拘らず一向に改善されない。国体を控えた今、今度こそ JR に抜本的対策等を執ることを強く求め、覚え書を交わして欲しい。</p> <p>(1) 独立した館を建設し、防府市の魅力ある観光施設として、観光客の誘客に活用することは、賛成する。ただし、基本的に「独立採算主義」を念頭に置いていただきたい。</p>		

No.	2	安藤 二郎	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. まちづくりは人づくり、人材育成への取り組み強化について</p> <p>2. 雨水による浸水被害対策について</p>			<p>(1) 防府市民のよりどころを見つけよう</p> <p>① 山頭火館では何を保存し、何を継承するのか。</p> <p>② 英雲荘で何を語り、何を保存し、何を継承するのか。</p> <p>(2) 本格的な人材育成プログラムを構築しよう</p> <p>① 生涯学習では何を学んでいるか</p> <p>② 「家庭の日」チラシの効用について</p> <p>③ 三哲を含む先人たちを学ぶ場を構築しよう</p> <p>(1) これまでに認可されている「公共下水道・雨水計画」は、どのように推移しているか。</p> <p>(2) 近年における、まちの形状変容に伴う浸水被害データは、蓄積されているか。また、それに伴い「ハザードマップ」の作成及び、対応できる適切な整備計画の立案等、早急な対策を要するのではないか。</p> <p>(3) 市民自らの手による雨水対策には、どのようなものがあるか。また、そのための補助制度は考えられているか。 また、公共施設等における貯水槽等の対策はどうか。</p>

No.	3	大田 雄二郎	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 市クリーンセンターの廃棄物処理施設建設事業について</p>	<p>(1) 5月10日の大雨で、クリーンセンター南側の市道が水没し、市民に迷惑をかけているので、市道対策について</p> <p>(2) 昨年8月24日に、市クリーンセンターが実施した地元説明会で、市民から出された雨水対策の要望に対して、市は再度地元説明会を開催すること。流末の新田ポンプ場のポンプを1基増設する件について。</p> <p>(3) 焼却炉等の建設計画は、隣接土地所有者の市民に対して、何の配慮もなく、意見を聞かずに進められてきており、配置計画も近隣住民のすぐ近くに予定されている。 また、バイオマスと称するメタンガス発生施設と焼却炉等があり、爆発の恐れ・熱・臭気・騒音・振動等危険性のある施設であり、市長等は、市民の安全・安心を考えて、配置計画と安全性を再検討することについて。</p>		
<p>2. 国指定天然記念物のエヒメアヤメの保存活動等について</p>	<p>(1) 国指定天然記念物のエヒメアヤメの保存活動については、エヒメアヤメ保存会が尽力されているが、施設のフェンスが老朽化して壊れており、無断進入や盗掘の可能性があるので、来年のエヒメアヤメの開花時期までに、フェンスの修理をする事と、エヒメアヤメの保存活動費について</p>		
<p>3. 国指定重要文化財である国分寺金堂等の国宝指定について</p>	<p>(1) 国分寺にある旧国宝で、国指定重要文化財である国分寺金堂・木造阿弥陀如来坐像・木造日光菩薩立像・月光菩薩立像・木造四天王立像の国宝指定について</p> <p>(2) 防府天満宮にある、国指定重要文化財である紙本著色松崎天神縁起の国宝指定について</p> <p>(3) 阿弥陀時にある国指定重要文化財である木造重源坐像の国宝指定について</p>		

No.	4	山田 耕治		
質 問 事 項			要 旨	
1.	成年後見制度の活用状況と現状の課題について		(1)	高齢者等が、犯罪や事故等に巻き込まれた事例の推移は？
2.	病児・病後児保育事業の普及と啓発について		(2)	判断力の低下した高齢者が安心して普段の生活を維持できる環境にしていくために後見人は重要な役割を担っているが、防府市での後見人制度利用者状況と、今後の行政の考え方は？
3.	「赤ちゃんの駅」の整備事業について		(3)	後見制度そのものや手続き、相談窓口など、その制度を知らない方もおられるのでは？
			(1)	防府市内においては、医療機関型が一カ所しかなく、時間の制限等の条件も厳しくなっている。市民の皆様から、医療機関型の拡充や時間制限のご要望は？
			(2)	保育中の子どもが体調を崩した場合に、対応可能な自園型の保育所のご要望も多いと思うが、現状の対応状況は？
			(1)	赤ちゃんの駅の充実した整備も兼ねたPRをどのように推進していくのか？
			(2)	赤ちゃんの駅に対するシンボルマークや旗等の市民投票やパブリックコメントでのアンケート等、実施をするべきでは？

No.	5	中林 堅造		
質 問 事 項			要 旨	
		<p>1. 東日本大震災からの教訓について</p> <p>2. 観光振興について</p>	<p>(1) 市庁舎及び公共施設の耐震について</p> <p>(2) 夏期に向けての市当局の節電について</p>	<p>(1) まちの駅「うめてらす」一周年を迎え、にぎわい創出への役割について</p>

No.	6	高砂 朋子	
質問事項			要 旨
<p>1. 墓地需要の対策について</p> <p>2. 学校教育の充実について</p>	<p>(1) 市営墓地の適正な維持管理について無縁区画の整備は計画的に進んでいるか。新たな貸出区画の確保の状況は。</p> <p>(2) 新たな墓地需要対策の推進について多様な墓地需要に対応するために、市営納骨堂が必要なのでは。</p> <p>(1) 平成20年9月、教科書バリアフリー法が施行。現在、障がいの状態や特性に応じて、どのような対応がされているか。</p> <p>(2) 今後、特別な支援を必要とする子供たちに対し、情報通信技術を活用し、一人一人に応じた成長を促すことが重要になって来ると思われるが、市の考えは。</p>		

No.	7	河杉 憲二		
質 問 事 項			要 旨	
1.	スポーツセンタープールの閉鎖について		(1) 突然のプール閉鎖に至った要因について	
			(2) 代替措置は考えているのか	
			(3) 今後の方針について	
2.	子どもの安全対策について		(1) 現在、学校の安心・安全対策は、どのように講じているのか。	
			(2) 平成18よりメール発信事業が始まったが、その中で防犯情報メールについて、現在の状況はどうか。	
			(3) 地域の防犯ボランティア（みまわり隊）の活動支援について	
			① みまわり隊に対する市の考え方は、どうか。	
			② 現在、みまわり隊への活動の支援策は、あるのか。	
			③ 統一したジャンパー・ベストの支給について	
			④ 活動に対する助成制度の創設について	



No.	8	山根 祐二	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 防災対策について</p> <p>2. 地域貢献形CSR（企業の社会的責任）の推進について</p>	<p>(1) 総務省配布の被災者支援システムについて、市長のご所見を伺う。あわせて、本市でのシステム導入についての、お考えを伺う。</p> <p>(2) 公立小中学校施設の防災機能整備について</p> <p>① 学校の防災備蓄倉庫の設置状況は、いかがか</p> <p>② 大規模防災備蓄倉庫が必要ではないか</p> <p>③ 体育館のテレビ受信設備について</p> <p>④ 避難所の仮設トイレとシャワー手配計画は</p> <p>⑤ 聞き取りにくいとの意見のあった防災無線は改善されたか</p> <p>(1) 活力ある地域づくりのため行政のCSR推進についての、ご所見を伺う。あわせて、その効果と課題についてお考えを伺う。</p>		

No.	9	山本 久江	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 安心・安全なまちづくりについて</p> <p>2. 高齢者、障害者等が利用しやすい建物や交通のバリアフリー化について</p>	<p>(1) 地震対策について</p> <p>① 住宅の耐震改修促進について</p> <p>② 市庁舎や災害時避難場所となる公民館・福祉センター等の耐震化について</p> <p>(2) 国の整備指針に基づく消防力の充実強化について</p> <p>(1) 市役所1号館のエレベーター設置について</p> <p>(2) 乗降しやすい大道駅となるためのJRへの改善要望について</p>		

No.	10	田中 健次	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. 自治基本条例施行後の対応について</p> <p>2. 防災対策について</p>	<p>(1) 「参画の推進」「意見聴取」「審議会等の運営」「協働の推進」について、4つの個別条例を新規につくるべきとしているが、その制定作業は、どうなっているのか</p> <p>(2) 政策の各分野の基本となる政策分野別基本条例を、制定する考えはないのか</p> <p>(3) 「行政評価」（自治基本条例第18条）を実施すべきではないか</p> <p>(4) 「公益通報」（自治基本条例第21条）については、条例を制定すべきではないか</p> <p>(1) 7. 21豪雨災害について、専門家、研究者の報告等を整理し、今後の防災に生かすべきではないか</p> <p>(2) 緊急速報「エリアメール」の配信を下関市が6月1日から開始しましたが、防府市も早急に実施すべきではないか</p> <p>(3) 東日本大震災をうけ、地域防災計画の見直しをすべきではないか</p>		

No.	1 1	重川 恭年		
質 問 事 項			要 旨	
	<p>1. 環境にやさしいまちづくりについて</p> <p>2. 市の活性化に寄与する、働く場の創出対策について</p>		<p>(1) 自転車にやさしいまちづくりと、その普及について</p> <p>(2) 太陽光発電、小型風力発電設備等の普及について</p> <p>(1) データーセンタ等、広い用地を要しない、事業所の誘致について</p> <p>(2) 高齢者、身体障害者などの、人材も活用可能な新規事業の展開について</p>	

No.	1 2	山下 和明		
質 問 事 項			要 旨	
	<p>1. 向島地区の排水対策について</p> <p>2. 廃棄物処理施設（新クリーンセンター）の建設に関する地域住民との調整について</p>		<p>(1) 漁業集落排水施設整備事業の意向調査と地元との協議について</p> <p>(2) 雨水対策事業の進展について</p> <p>(1) バイオガス化処理施設の安全性について</p> <p>(2) バイオガス化処理施設の住民説明会について</p> <p>(3) クリーンセンターの用途地域変更について</p>	

No.	13	土井 章	
質 問 事 項			要 旨
1.	公共、公用施設等の耐震化について		(1) 市役所、公会堂、文化福社会館、競輪場、市営住宅等、旧耐震基準で建設された施設の耐震性の現状と、その対応について また、大崎橋等の老朽橋梁の耐震度について
2.	市長給料の削減等について		(1) 平成17年度から続けていた市長給料自主的5%カットを止めた理由等について
3.	江良農地災害復旧工事（平成21年災）について		(1) 国庫補助対象事業の在り方と成果及び、その後の対応について

No.	1 4	三原 昭治		
質 問 事 項			要 旨	
	<p>1. 禁煙対策と喫煙対応について</p> <p>2. 財団法人 山口・防府地域工芸地場産業振興センターの運営について</p>		<p>(1) 防府市では、市内の学校や公民館などの公共施設において、受動喫煙防止の観点から敷地内禁煙対策を進めているが、具体的な対策と喫煙対応は、どのように行っているのか</p> <p>(1) 山口・防府地域工芸地場産業振興センターの運営（事業）として、行っているセンター1階の貸し店舗について、3月議会で一般質問した、又貸し問題と、退職部課長の処遇ポストと答弁のあった事務局長ポスト等について</p>	

No.	15	松村学	
質問事項			要 旨
<p>1. 市長の公約（市議半減・市長給与半減・退職金廃止）について</p>	<p>(1) 本年4月に実施された山口県議会議員選挙についても、市議半減についても争点になった。市長自身も地域政党「とことん防府」の代表としてマイクをとって訴えられたが、半年前は3万5千人の署名があったものの、投票という形でふたを開ければ、6900人しか市議半減に賛同されなかった。この結果を踏まえて、どのように分析され、今後、どう活動されるのか？</p> <p>(2) 市長の給与半減・退職金廃止について、先日、「防府をよくする会」からも公約を執行するよう声明が提出されましたが、全国的に、このような公約を掲げている市長は、まず自らの削減廃止案を実行されている。このままだと任期中に公約を果たせませんが、隗より始められたらいかがか？公約として見なくても、全国的な流れで、市長の退職金制度は、市民感覚に大きく外れている。松浦市長の退職金、4期16年で、約1億円の退職金となるが、早急に見直すべきではないか？</p>		
<p>2. にぎわいの創出について</p>	<p>(1) 防府市経済は、最大危機を迎えているにもかかわらず、打つ手なしといった状況である。（仮称）にぎわいの創出5箇年計画を策定し、即効性のある施策をどんどん打ち出すべきではないか？その計画を進めるためにも、この特務を果たすべく、抜本的な組織編成と職員配置をお願いしたいが、いかがか？</p> <p>(2) 最近の防府市の企業の進出状況や、これからの見通しは？JT撤退後の状況は？マツダ・ブリヂストン・協和発酵バイオなど主要産業の動きや市としての支援は？これまでの多数の議員の質問に対して、市として改善した点は？今のままでは、防府100年の計は論じられない。にぎわいの創出こそ、市の原動力となる問題で、最重要課題である。完全に衰退してからでは手は打てない。</p>		